

総合情報メディアセンターNEWS

2018年 1月

第9巻 第4号



学術情報基盤システムを更新します

2018年4月から、新システムでの運用が始まります。新システムでは、教育用端末やプリンタが一新されるなど多くの変更があります。新システムで提供するサービスをご紹介します。
(講師 浜元信州)

■教育用端末、貸出ノートPC

教育用端末のスペックが上がり、より快適な演習・自習環境を提供できるようになります。中央図書館、理工学図書館では、固定された端末の代わりに、ノートPC貸出が始まり、ラーニングコモンズ内で場所を選ばず、PCを利用しながら、議論や意見交換ができるようになります。

■課金プリンタ

要望が多く寄せられていた現金での支払い、USBメモリを利用した印刷に対応したプリンタが導入されます。また、紙切れの多かった医学図書館にはプリンタを増設しました。

これまでと違いセブンイレブンで導入されているネットプリントと同様のWeb経由の印刷となります。印刷できるファイルはpdf形式となります。

■ウイルス対策ソフト

現在提供中の System Center Endpoint Protection が、トレンドマイクロ社製のウイルスバスター Corp Client 等の製品に変わります。Windows 用、Mac 用のほかに、スマートフォンにも対応予定です。4月以降に全学ソフトウェアからダウンロードしてください。また、Office 365も利用できるようになる予定です。

システム更新に伴うお願い

■教育用端末の個人用ファイルについて

教育用端末の撤去までに、個人用ファイルのバックアップをお願いします。データ移行は行いません。

■演習室について

演習室は、教育用端末とプリンタの入れ替えのため、下記の撤去日以降3月13日(火)まで利用できません。

■更新スケジュールについて

多くのサービス停止を予定しています。最新版は総合情報メディアセンターのWebページに記載しています。ご確認をお願いいたします。



更新スケジュールはこちら

ITサービス>情報基盤システム更新 (2018)

(講師 浜元信州)

設置場所	撤去日
中央図書館ラーニングコモンズ	2月13日(火)
中央図書館北側閲覧席	3月5日(月)
教養教育GB201教室	2月13日(火)
教育学部C105教室	2月13日(火)
教育学部N101教室	2月13日(火)
社会情報学部612教室	2月19日(月)
医学図書館	3月5日(月)
医学部共用施設棟演習室A, B	3月5日(月)
理工学図書館ラーニングコモンズ	3月12日(月)
理工学図書館演習室A, B	2月19日(月)

図書館で就活応援！「リケジョブ^{プラス}」始めました (1/16～3/30)

—理工学図書館—

理工学図書館では、これから就職活動をスタートさせる学生への応援企画「リケジョブ+」を実施中です。就活関連図書はもちろん、新聞や雑誌の特集記事展示、就活を終えた先輩が随時質問に答えるQ&Aコーナーなど様々な情報を用意しています。

リケジョブ リケジョブ
理系女にも理系JOBを目指す男子学生にも役立つ「リケジョ

ブ+」をぜひご活用ください。就活はまだまだ先のこと・・・と思っている2年生も、少しずつ準備を始めてみませんか。

なお、図書室の「就職・資格コーナー」には通年で就活関連図書を並べています。こちらも併せてご活用ください。

■期間：
1月16日(火)～3月30日(金)

■場所：理工学図書館
サービスデスク前
(理工学図書館 山内可菜)



「森皆ねじ子展」を開催中です (1/29～2/28)

—医学図書館—

医学図書館では、医学系研究科機能形態学の村上徹准教授にご協力いただき、医師兼漫画家として活動している森皆ねじ子先生の著作展示を開催しています。

医学書として重要なポイントを抑えつつ、イラストを豊富に使用することで、よりわかりやすく描かれている森皆先生の図書をぜひ手に取ってご覧ください

い。一般には流通していない「平成医療手技図譜」シリーズは必見です。

村上准教授による工夫を凝らしたディスプレイもお楽しみください。

■期間：
1月29日(月)～2月28日(水)
■場所：
医学図書館1Fロビー
(医学図書館 宇敷智美)



ギャラリーにて教育学部学生による卒業記念書作展を開催中です (1/17～1/31)

—中央図書館—

中央図書館では、1月17日(水)から1月31日(水)まで、今年度卒業・修了する教育学部の学生による書道作品展を開催しています。教育学部国語教育講座の永由徳夫教授の指導のもと、作品制作に励んできた学生たちの4年間・6年間の集大成になります。学生の力作9点と、永由教授

の作品1点のほか、学生たちが自分で彫った落款も展示中です。ぜひ、足をお運びください。

■期間：
1月17日(水)～1月31日(水)
■場所：
中央図書館1Fギャラリー
(中央図書館 柘植久美子)



(展示の様子)

ポスターデザインセミナーを開催しました

—理工学図書館—



理工学図書館では、12月19日(火)に「研究者のためのポスター

デザインセミナー」を開催しました。講師にはアドビシステムズ(株)から名久井舞子さんをお迎えし、学会のポスターセッションなどで効果的に研究成果を伝えるためのデザイン・レイアウトについて講演いただきました。

セミナーではIllustratorCCソフトを使用した、プレゼンソフ

トとの違いやレイアウト方法、連動アプリを使った画像編集テクニックなど具体的な制作過程を見ることができ、参加した教職員、学生さん(70名)は熱心に聞き入っていました。また、デザインという視点で見やすいポスターを制作することの大切さを実感したセミナーでした。

(理工学図書館 山内可菜)

オカリナアンサンブルによるクリスマスコンサートを開催しました

—中央図書館—

中央図書館では、12月2日(土)に「土のしらべによる～祈りのうた」というテーマでオカリナ四重奏団「アンサンブル・オウル」によるクリスマスコンサートを開催しました。市内外から約110名の方が来館し優しいオカリナの音色に酔いしれました。

楽器紹介を兼ねた独奏では日本的な曲を披露していただいたり、代表者の栗原様が星野富弘

氏の詩に感銘を受けて作曲された「母の手」を演奏されたりと、一般的なオカリナコンサートでは聞けない曲も披露していただきました。

また、演奏だけでなく、楽器の説明や楽しいお話に時折笑い声も起こり、とても楽しいひと時を過ごすことができました。

図書館内での音楽コンサートは初めての試みでしたが、好評のうちに終了することができまし



た。今後もこうした皆様に親しみを持っていただけるような企画を開催してまいります。

(中央図書館 多胡和泉)

卒業生向けサービスについて

■図書館

開館時にはいつでも入館可能です。図書の閲覧に加え、本学で契約している電子ジャーナル、データベースのほとんどを館内から利用できます。「図書館利用証」の発行を受ければ、図書の館外貸出ができます。

なお、お近くの公共図書館から手続きをしてもらえれば本学図書館の本を借りることもできます。

■全学Gmail

卒業後もメールアドレスの変更はありません。本学からメールをお送りすることがありますので、全学Gmailを時々チェックしてください。

全学Gmailには転送機能がありますので、携帯電話や個人のメールアドレスに転送すると便利です。詳しくは「Gmailヘルプ」をご覧ください。

■マイクロソフト包括ライセンス

在学中利用していたソフトウェアを継続して利用できますが、卒業後の新規インストールやアップグレードはできません。卒業生の利用の条件である「使用許諾証明書」の交付はソフトウェアのダウンロード時にWeb上で行っていますので申請は不要です。

卒業後もセンターのサービスを引き続きご利用ください。

三つのAI ー群馬大学 CSIRT発足 1年経過してー

2017年はAI (Artificial Intelligence) の年でした。少なくとも、私のような情報技術屋にとっては、第3次AIブームと言われ、その中核をなすディープラーニング技術を構成する数学を学び直す技術者も増えていきます。

雑誌Wiredの少し前の記事ですけれど「これからの50年を考えると、世界をかたちづくるテクノロジーをひとつ挙げるなら、それは人工知能 (AI) にほかならない。」という書き出しで始まる、「バラク・オバマが伊藤穰一に語った未来への希望と懸念すべきいくつかのこと」 (<http://wired.jp/special/2016/barack-obama/>) を読まれたでしょうか。世の中を非可逆的に転換させる可能性のあるデジタルテクノロジーが引き起こす社会的な困難に我々はどう立ち向かうべきなのかについて考えるとき、示唆を与えてくれる文章です。

この一つ目のAI (Artificial Intelligence) は世の中に浸透し社会をこれから転換させる可能性があります。

すでに世の中に浸透し、社会を非可逆に転換させたデジタルテクノロジーがあります。それが二つ目のAIです。コンピュータネットワークが進化し、インターネットが社会に普及し始めたのは30年ほど前のことです。

これより前をBI (Before Internet) , これから後をAI (After Internet) と呼ぶ人がいます。こちらのAIは、すでにそれが引き起こす社会転換の中でWorld Wide Webやクラウドコンピューティング、それにInternet Of Things (IOT) という、さらなる変化を伴い人々の生活に深く浸透して来ました。

技術だけでは世の中を変えられません。人がその技術を使って現実社会の生活の質が変化し、それが社会を転換させるためには、大きな溝を超える必要があります。その溝を超えて来る技術は極まれで、インターネットとそれに続く変化は奇跡のような出来事です。

本当に社会に定着するリアルなものには光と影が存在します。すでに社会を転換させた二つ目のAI (After Internet) には、くっきりした影があります。その代表的なものはサイバー攻撃です。サイバー攻撃と言っても戦車やミサイルのように正面からやってくる、目に見えるものばかりではないのは、皆さん良くご存じのとおりです。ひっそりと忍び込んで来るものも数多くあり、こちらの方が本当に恐ろしい影です。攻撃者は力も知恵も持っており、今後攻撃側がAI (Artificial Intelligent) も超一流のものを使って攻めて来るで

しょう。一方、迎え撃つ我々はいまだ非力です。

非力だからと言って、白旗を上げるわけには行きません。かと言って竹やりで頑張り抜こう、としてみても救われるわけがありません。我々も知恵と力を結集して解決にあたる以外方法がないのです。

総合情報メディアセンターも知恵と力を注いでこの問題解決に取り組んでいます。例えば不正侵入検知・防御システムの導入を行い、学内のひっそりと忍び込んで来る攻撃の基地を日々排除しています。今後、さらに監視精度を高めるための監視ツールの研究なども行う必要があります。さらに一昨年9月には、セキュリティ対応組織である群馬大学 CSIRTが危機管理室内に設置されました。CSIRTはよく消防団に例えられます。消防団に指名された団員だけで地域の防災ができるわけではないのと同様にCSIRTのメンバだけで安全な情報生活が守れるわけではありません。群馬大学での生活に対するAI (あい：三つ目のAI) が元となる、皆さん一人一人の知恵と力を結集が自らの生活環境を守るために重要です。群馬大学CSIRTをその結集の場としてご活用ください。

(CSIRT長 横山重俊)

CSIRT (Computer Security Incident Response Team, シーサート) とは、コンピュータやネットワーク (特にインターネット) 上で何らかの問題 (主にセキュリティ上の問題) が起きていないかどうか監視すると共に、万が一問題が発生した場合にその原因解析や影響範囲の調査を行ったりする組織の総称です。 (<https://ja.wikipedia.org/wiki/CSIRT>)

■群馬大学CSIRTホームページ: <http://csirt.gunma-u.ac.jp>

■群馬大学CSIRT窓口メールアドレス: csirt-desk@ml.gunma-u.ac.jp



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

群馬大学総合情報メディアセンター

荒牧地区：前橋市荒牧町4-2

昭和地区：前橋市昭和町3-39-22

桐生地区：桐生市天神町1-5-1

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>

図書館ブログ <http://blog.media.gunma-u.ac.jp/>

Twitter公式アカウント [@Media_Gundai](https://twitter.com/Media_Gundai)

TEL (027)220-7170

FAX (027)220-7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。